

出 版 案 内

一般社団法人地域環境資源センター

※書籍のご購入は、所定の購入申込書によるお申し込みのほか当センターホームページ
(<http://www.jarus.or.jp/publication/index5.html>) からもお申し込みいただけます。

1. パンフレット・書籍

(1) (一社) 地域環境資源センターのご案内

資料名	構成	内 容	価 格
1. 一般社団法人地域環境資源センターのご紹介 (平成25.4改訂)	A 4 カラー 12ページ	当センターの業務概要及び取組状況を分かりやすく紹介しています。	無料

(2) 地域資源循環技術シリーズ

資料名	構成	内 容	価 格
2. 地域資源循環技術シリーズ1 集落排水Q&A (平成16.7)	A 5 126ページ	これまでに季刊誌に掲載したミニ相談箱及びQ&Aを、現時点で見直し、修正をし、「計画」、「設計」、「施工」、「維持管理」、「資源循環」、「その他」に大きく分類し、さらに類似する項目ごとに系統的に整理し、1冊のQ&A集として取りまとめました。	会員・賛助会員 ・一般 1,500円
3. 地域資源循環技術シリーズ2 集落排水の管路技術入門 (平成18.11)	A 5 189ページ	農業集落排水の管路施設について、歴史、流送方式の比較、各方式の設計・施工法の概要、新しい技術の紹介、地震に対する減災対策の概要などをわかりやすく体系的にまとめたものです。	会員・賛助会員 ・一般 2,000円
4. 地域資源循環技術シリーズ3 稲わら等バイオマスからのエタノール生産 (平成20.3)	A 5 208ページ	「国産バイオ燃料の大幅な生産拡大」(平成19年2月総理報告)では、技術開発を進め、稲わら等のセルロース系原料や資源作物などを原料にした、バイオ燃料を大幅に生産拡大することとしています。(社)地域資源循環技術センターでは、五十嵐泰夫東京大学大学院農学生命科学研究科教授を座長とする研究会を開催し、稲わら等を原料としたエタノール生産について、製造工程のみならず原料の収集・運搬から、副生成物・廃液の利用と処理に至るまでの技術の現状と課題等を取りまとめました。今般、この結果を『稲わら等バイオマスからのエタノール生産』として出版しました。	会員・賛助会員 2,000円 一般 3,000円
5. 地域資源循環技術シリーズ4 バイオマス技術入門 (平成21.7)	A 5 250ページ	人材育成の一環として(社)地域資源循環技術センターが平成20年5月に開催した中央研修会において、バイオマス利活用の各分野を代表する学識経験者による講義内容を基に、できるだけわかりやすくまとめたものです。これからバイオマスの利活用に取り組みようとする方々にとっての入門書として最適です。	会員・賛助会員 3,000円 一般 3,500円
6. 地域資源循環技術シリーズ5 メタン発酵消化液の液肥利用マニュアル (平成22.3)	A 5 188ページ	本書は、メタン発酵消化液を液肥として利用するために必要となる視点や、農業資材として利用するための施肥技術及び施用技術を幅広く整理しました。廃棄物を資源として見直す「循環型社会構築」の取組を進めるための必携の書です。	会員・賛助会員 1,200円 一般 1,500円

(3) 技術資料シリーズ

資料名	構成	内 容	価 格
7. 技術資料シリーズ(処理施設-1) 農業集落排水施設における機能強化技術資料 -生物膜法から浮遊生物法への処理方式の 切替改築を中心として- (平成20.7)	A 4 174ページ	処理方式の切替改築による機能強化に関する技術的検討及び実態調査による先進地区の貴重な経験を基に、計画・設計・施工・維持管理の各段階で留意すべき事項を整理したものです。	会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円
8. 技術資料シリーズ(処理施設-2) 機能強化(処理方式の変更を伴う改築)に よる改築後の運転技術資料 -生物膜法から浮遊生物法への改築における 運転手法- (平成21.10)	A 4 96ページ	処理方式の変更を伴う改築について、改築後の処理方式の立ち上げ運転手法及び定常運転手法の実態調査、並びに維持管理者への聴き取り調査等を行い、得られた知見・留意事項を運転技術資料として取りまとめたものです。	会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円

(4) 農業集落排水分野

(ア) 全般

資料名	構成	内容	価格
9. 農業集落排水の手引き ～より良い保全・管理・整備のために～ (平成27.11改訂)	A 4 28ページ	農業集落排水施設の現状や課題、本事業の実施の流れや支援措置等について、市町村担当者向けにわかりやすく解説したものです。	販売は行っておりません。センターホームページからダウンロードできます。
10. 土地改良事業計画指針 「農村環境整備」 第3章農業集落排水施設 (平成18.11)	A 4 68ページ	農業集落排水事業計画作成の際の標準的な調査及び計画作成の手法を明らかにした『土地改良事業計画指針「農村環境整備」第3章農業集落排水施設』については、技術の進歩、これまでの集排施設の稼働実績や環境保全に係る社会的環境の変化等を踏まえ、現時点における体系的な技術基準と標準的な計画の作成手法として相応しい内容にすべく、農林水産省が計画基準改定委員会農村環境整備部会に農業集落排水施設分科会を設置して鋭意検討を行い、今般、その改正がなされたところです。	会員・賛助会員 ・一般 1,200円
11. 農業集落排水便覧（平成19年度版） (平成19.7)	A 4 844ページ	本書は、農業集落排水について国の事業の内容・実施手順、関係法令、地方財政措置等の制度的な仕組みのほか、汚水処理技術に関する基礎的な理論、施設の整備の計画・設計・積算・施工及び維持管理の手法、汚泥の循環利用方法等を解説しています。また、巻末に事業実施要綱・要領、関係通知、農業集落排水に係る情報、データ等を取りまとめています。農業集落排水施設の整備や維持管理に携わる方々にとっての入門書かつ必携書です。	会員・賛助会員 6,000円 一般 7,000円
12. 農業集落排水施設整備における PFI実施の手引き (平成17.5)	A 4 127ページ	農業集落排水施設の整備をPFI手法により実施する際の手順や留意点をまとめた資料です。	会員・賛助会員 ・一般 1,500円
13. 農業集落排水施設における ストックマネジメントの手引き（案） (平成24.3)	A 4 101ページ	本手引きは、農業集落排水施設の適切な機能保全とライフサイクルコストの低減を図るための実務に必要な基本的事項を取りまとめたものです。	販売は行っておりません。センターホームページからダウンロードできます。

(イ) 処理施設

資料名	構成	内容	価格
14. JARUS型処理施設の案内 (平成27.9改訂)	A 4 カラー 16ページ	JARUS型及びJARUS仕様の施設の特徴を取りまとめて紹介したものです。	販売は行っておりません。センターホームページからダウンロードできます。
15. JARUS型施設の手引き (※24タイプの別に作成) JARUS-I, II, III, IV, S, IVs, IVH, XI, XII, XIIg, XIIH, XIII, XIV, XIVH, XIVP, XIVP1, XIVG, XIVGP, XIVR, X JARUS型膜分離活性汚泥方式, JARUS-FM, JARUS仕様-OD, ODH, JARUS-汚泥改質機構 (平成26.7改訂)	A 4 カラー 4ページ	JARUS型及びJARUS仕様の施設を容易に理解できるよう図と解説により、それぞれの特徴と処理過程を解説したものです。 (XIVR型はH27.9に改訂)	販売は行っておりません。センターホームページからダウンロードできます。
16-1. 日本農業集落排水協会型設計指針 JARUS-I～IV, XI, XII, XIIg, XIII, XIV, XV, JARUS仕様-OD (平成10年度) JARUS-IIIg, IIIR, IVS, IVH, XIVP, XIVH, JARUS仕様-ODH (平成12年度) JARUS-S (平成16年度改訂)	A 4 82ページ ～ 170ページ	JARUS型及びJARUS仕様の施設の設計を行うに当たり、遵守すべき技術的内容を各型式別に詳しく取りまとめた汚水処理施設設計者向けの必需品です。	タイプ別（1冊） 会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円 I～IV, XI, XII, XIIg, XIII, XIV, XV, JARUS仕様のOD型、IVS, IVH, XIVPについては現在、販売は行っていません。
16-2. 地域資源循環技術センター型設計指針 JARUS-XIVg型・JARUS-XIVGP型 (平成23.5改訂)	A 4 163ページ	この指針は、JARUS-XIVg型・XIVGP型を適用した汚水処理施設の設計に当たって遵守すべき事項を定めたものです。平成23年5月の改訂（第2回目）では、処理対象人口の拡大を行い、更に一部処理水質を向上させた処理性能の大臣認定を平成22年12月に新規に取得し、この新たに取得した内容を反映させたものです。平成18年3月に一部改正された土地改良事業計画指針「農村環境整備」第3章農業集落排水施設の内容を反映しております。	会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円

資料名	構成	内 容	価 格
16-3. JARUS型設計指針 JARUS-XIVR型 (平成24.7) 平成27.9に正誤表をホームページに掲載	A 4 162ページ	JARUS-XIVR型の研究・開発は、平成20年度に着手して、平成24年5月に国土交通大臣の大臣認定を取得しました。本設計指針は、本型式を適用する汚水処理施設の切替改築及び新設への設計について、基本的な技術基準を取りまとめたものです。平成27年9月に処理対象人口を10,000人に増加して一部設計基準も見直しています。	会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円
16-4. 地域資源循環技術センター型設計指針 JARUS-FM型・ 膜分離活性汚泥方式JARUS-FM型 (平成19.12改訂)	A 4 99ページ	JARUS-FM型は、小規模処理区（700人以下）を対象とし、低コスト化と処理性能の高度化を図った、新たなタイプの膜分離活性汚泥方式を導入したFRP構造の処理システムです。この指針は、JARUS-FM型を適用した汚水処理施設の設計に当たって遵守すべき事項をまとめたものです。加えて、平成18年3月に一部改正された『土地改良事業計画指針「農村環境整備」第3章農業集落排水施設』の内容も反映させています。	会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円
16-5. 日本農業集落排水協会型及び 地域資源循環技術センター型運用指針 膜分離活性汚泥方式 高度リン除去膜分離活性汚泥方式 (平成19.9改訂)	A 4 130ページ	JARUS型を適用した施設の設計に当たり、遵守すべき事項を運用指針として取りまとめたものです。その中でも、JARUS型膜分離活性汚泥方式 運用指針（平成19年度改訂版）は、「膜分離活性汚泥方式 地域資源循環技術センター06型」として、新たな方式の大臣認定を追加取得したことに伴い、本方式に係る事項を追記するとともに、平成18年3月に一部改正された『土地改良事業計画指針「農村環境整備」第3章農業集落排水施設』の内容を反映させたものです。	タイプ別（1冊） 会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円
16-6. 日本農業集落排水協会型運用指針 汚泥改質機構付Ⅲ型 汚泥改質機構付ⅠⅠ型 汚泥改質機構付ⅣⅣ型 (平成13.3)	A 4 164ページ ～ 200ページ	本運用指針は、協会型の各システムに汚泥改質機構を適用するため、生物膜法では協会-Ⅲ96型、回分式活性汚泥方式では協会-XⅠ96型、活性汚泥法では連続流入間欠ばっ気方式による協会-XⅣ96型の3タイプについて実証試験を行い、取りまとめたものです。	タイプ別（1冊） 会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円 汚泥改質機構付ⅣⅣ型は販売しておりません。
17. 日本農業集落排水協会型 施設機器等標準仕様（案） (平成11.4)	A 4 345ページ	農業集落排水施設で多く採用されているJARUS型汚水処理施設の機械・電気設備の各種の機器等の仕様の標準化を行い、より適切な設計施工が行えるよう作成したものです。	会員・賛助会員 4,500円 一般 5,900円
18. 農業集落排水処理施設のコンクリート 防食設計・施工の手引き 〔設計編・施工編〕 (平成17.9改訂)	A 4 158ページ	コンクリート防食設計・施工において、幅広い技術検討が行われるよう「日本農業集落排水協会-コンクリート防食設計指針」及び「日本農業集落排水協会-コンクリート防食施工指針」の適用範囲等を見直し、本手引きとして改訂しました。	会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円
19. 農業集落排水施設のコンクリート 劣化点検・診断・補修の手引き（案） (平成14.7)	A 4 174ページ	既供用の農業集落排水施設におけるコンクリート及び防食被覆の劣化現象を早期発見するための劣化点検、補修の要否判定及び補修に必要なデータを得るための劣化診断、その診断結果に基づいて実施する補修設計・補修工事についてまとめたものです。	会員・賛助会員 5,000円 一般 6,500円
20. 農業集落排水施設のコンクリート防食に 関する耐久性実証試験報告書 (平成17.6)	A 4 294ページ	農業集落排水施設のコンクリートの腐食劣化対策として、これまでに実施してきた既供用の農業集落排水施設の腐食実態調査及び防食被覆工法に関する耐久性実証試験の結果を整理したもので、事業主体が防食被覆工法の耐久性に関して検討することにより、農業集落排水施設の耐久性向上の参考資料となるように取りまとめたものです。	会員・賛助会員 4,000円 一般 5,000円
21. 農業集落排水施設における 臭気対策の手引き（案） (平成21改訂)	A 4 140ページ	農業集落排水施設の事業主体及び管理主体が知っておくべき臭気対策について、計画、設計、施工、検査、試運転、維持管理の各段階で留意すべきポイントを整理し、業務上必要な事項をわかりやすく説明しています。	会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円
22. 農業集落排水施設における計画処理対象 人口算定に関する参考資料 (平成13.5)	A 4 89ページ	農業集落排水施設の計画処理対象人口算定に必要な定住人口や流入人口の考え方、及び算定手法等の基本的な事項を農業集落排水事業の計画策定担当者向けの執務参考資料として取りまとめたものです。	会員・賛助会員 3,500円 一般 4,000円
23. 農業集落排水処理施設の更新整備（改築） 処理方式の切替改築 (平成26.6)	A 4 カラー 8ページ	本パンフレットは更新整備（機能強化）のうち、処理方式の切替による改築にスポットを当て、処理切替による改築の概要やJARUSの技術支援、また、レイアウト事例（改築前後）や参考になる技術資料について取りまとめたものです。集落排水処理施設の切替改築を計画している市町村担当者をはじめとして、農業集落排水事業の関係者への手引きとしてご利用いただけます。	販売は行っておりません。センターホームページからダウンロードできます。

資料名	構成	内 容	価 格
24. 汚泥量調整機構技術資料（案） （平成18.6改訂） 平成20.1に平成19年度正誤表をホームページに掲載	A 4 139ページ	汚泥量調整機構(6タイプ)は、農業集落排水施設から発生する汚泥量を、肥料化施設等汚泥受入側の状況に応じて調整するシステムであり、汚泥の農地還元の円滑かつ効率的な実施などにつながるツールです。本技術資料（案）は、汚泥量調整機構を適用する際の設計に当たって遵守すべき標準的事項をまとめたものです。	会員・賛助会員 4,500円 一般 6,000円
25. 農業集落排水施設の更新整備に関する 技術指針（案） （平成27.5）	A 4 308ページ	本資料は、農業集落排水事業により整備された施設の更新整備の計画、施工に当たって、留意すべき一般的な事項を整理するとともに、地域の水質改善や資源循環利用といった農業集落排水施設の特質を踏まえつつ、更新整備の低コスト化及び維持管理コストの縮減に資する新技術等を導入するための調査計画、設計、施工方法及び留意すべき事項を取りまとめたものです。	販売は行っておりません。センターホームページからダウンロードできます。

(ウ) 管路施設

資料名	構成	内 容	価 格
26. 新技術情報シリーズ（管路施設－1） 急傾斜排水管路システム （平成16.8）	A 4 101ページ	急傾斜地形において適用できる新技術を紹介するとともに設計や積算の考え方を示したもので、事業主体をはじめ設計に携わる方々が具体的に検討を行う上で参考としていただけるように取りまとめたものです。	会員・賛助会員 2,000円 一般 3,000円
27. 新技術情報シリーズ（管路施設－2） アーバンノーディグ工法 （平成16.8）	A 4 カラー 48ページ	管路工事（非開削工事）において適用できる新技術を紹介するとともに設計や積算の考え方を示したもので、事業主体をはじめ設計に携わる方々が具体的に検討を行う上で参考としていただけるように取りまとめたものです。	会員・賛助会員 1,500円 一般 2,500円
28. 新技術情報シリーズ（管路施設－3） リップ付硬質塩化ビニル管を使用した 曲管システム （平成18.6）	A 4 79ページ	管路の屈曲点において適用できる新技術を紹介するとともに設計や積算の考え方を示したもので、事業主体をはじめ設計に携わる方々が具体的に検討を行う上で参考としていただけるように取りまとめたものです。	会員・賛助会員 2,000円 一般 3,000円
29. 均圧管付伏越し計画設計の手引き （平成11.5）	A 4 20ページ	真空式管路施設における均圧管付伏越しの計画設計上の基本的事項を手引きとして取りまとめたものです。	会員・賛助会員 無料 一般 500円

(エ) 維持管理

資料名	構成	内 容	価 格
30. 日本農業集落排水協会型及び 地域資源循環技術センター型施設 維持管理マニュアル《管理主体編》 （平成21改訂）	A 4 430ページ	JARUS型汚水処理施設の維持管理について、関連する法令や運営管理等、管理主体として理解しておくべき事項を取りまとめたものです。	会員・賛助会員 5,000円 一般 7,500円
31-1. 日本農業集落排水協会型 農業集落排水処理施設維持管理マニュアル JARUS-S型 （平成8.4） JARUS仕様-OD型 （平成10.3）	B 5 152ページ 191ページ	JARUS型汚水処理施設の2タイプについて、それぞれの装置の取扱方法や運転条件の設定方法について詳細に説明を加え、施設の維持管理が適切かつ効果的に行えるよう作成したものです。	タイプ別（1冊） 会員・賛助会員 各3,000円 一般 各4,000円
31-2. 日本農業集落排水協会型 農業集落排水処理施設維持管理マニュアル JARUS-XIVH型 （平成18.3）	A 4 200ページ	JARUS型汚水処理施設の装置の取扱方法や運転条件の設定方法について詳細に説明を加え、施設の維持管理が適切かつ効果的に行えるよう作成したものです。	会員・賛助会員 各3,000円 一般 各4,000円
31-3. 農業集落排水処理施設維持管理マニュアル JARUS-I型 （平成21改訂） JARUS-III型, JARUS-XI・XII型, JARUS-XIV型 （平成28.1改訂）	A 4 166ページ 224ページ 184ページ 204ページ	JARUS型汚水処理施設の装置の取扱方法や運転条件の設定方法について詳細に説明を加え、施設の維持管理が適切かつ効果的に行えるよう作成したものです。	タイプ別（1冊） 会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円
31-4. 農業集落排水処理施設維持管理マニュアル JARUS-XIVG型・XIVGP型 （平成28.2改訂）	A4 204ページ	JARUS-XIVG型・XIVGP型は、新設のみならず「機能強化」により処理方式を変更する更新地区にも適用が可能です。JARUS型汚水処理施設の、それぞれの装置の取扱方法や運転条件の設定方法について詳細に説明を加え、施設の維持管理が適切かつ効果的に行えるよう作成したものです。	会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円
31-5. 農業集落排水施設維持管理マニュアル JARUS-XIVR型 （平成25年）	A4 220ページ	JARUS-XIVR型は、新設のみならず「機能強化」により処理方式を変更する更新地区にも適用が可能です。JARUS型汚水処理施設の、それぞれの装置の取扱方法や運転条件の設定方法について詳細に説明を加え、施設の維持管理が適切かつ効果的に行えるよう作成したものです。	会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円

資料名	構成	内 容	価 格
31-6. 農業集落排水処理施設維持管理マニュアル 地域資源循環技術センターFM型・ 膜分離活性汚泥方式地域資源循環技術 センターFM型 (平成20.2)	A4 174ページ	膜分離活性汚泥方式を採用したFRP構造の施設であるJARUS-FM型(2方式)の維持管理に必要な作業項目、運転条件の設定に関する考え方、関連技術の解説及び注意事項をまとめたものです。	会員・賛助会員 各 4,000円 一般 各 5,500円
31-7. 農業集落排水処理施設維持管理マニュアル 日本農業集落排水協会型 膜分離活性汚泥方式・ 日本農業集落排水協会型 高度リン除去 膜分離活性汚泥方式・ 膜分離活性汚泥方式 地域資源循環技術 センター06型 (平成19.11)	A4 214ページ	JARUS型膜分離活性汚泥方式(3方式)の維持管理に必要な作業項目、運転条件の設定に関する考え方、関連技術の解説及び注意事項をまとめたものです。	会員・賛助会員 各 4,000円 一般 各 5,500円

(オ) 基準関係

資料名	構成	内 容	価 格
32. 農業集落排水施設設計指針 (平成19.6改訂)	A4本編 601ページ 参考資料編 305ページ	農業集落排水施設の特徴を踏まえ、適正な調査・設計・施工・管理を行う上で必要となる技術的内容を中心に詳しく取りまとめたものです。農業集落排水技術者並びに関係者の必携書です。	会員・賛助会員 12,000円 一般 16,000円 (現在、販売を行っていません)
33. 農業集落排水施設施工指針 －汚水処理施設編－ (平成19.6改訂)	A4 297ページ	農業集落排水施設の汚水処理施設建設工事に携わる現場技術者が、適切かつ円滑な施工を図るために施工の各段階で留意すべき、あるいは遵守すべき技術的事項等をわかりやすく取りまとめた施工技術者向けの必携書です。	会員・賛助会員 5,000円 一般 6,500円 (現在、販売を行っていません)
34. 農業集落排水施設施工指針 －管路施設編(案)－ (平成10.3)	A4 200ページ	農業集落排水施設の管路施設建設工事に携わる現場技術者が、適切かつ円滑な施工を図るために施工の各段階で留意すべき、あるいは遵守すべき技術的事項等をわかりやすく取りまとめた施工技術者向けの必携書です。	会員・賛助会員 3,500円 一般 5,500円
35. 農業集落排水施設検査・施工管理指標(案) (平成12.4)	A5 148ページ	農業集落排水施設の施工に当たって必要となる施工管理項目のうち、発注者及び請負者の双方において必要となる出来形管理(撮影記録による出来形管理を除く)について指標を示したものです。	会員・賛助会員 4,000円 一般 5,000円
36. 農業集落排水施設汚水処理施設 構造設計参考書 (平成20年度改訂版) (平成20.8)	A4 470ページ	農業集落排水施設設計指針平成19年度改訂版等の改訂内容を踏まえ、汚水処理施設の構造設計を行う上での留意点、耐震設計を追加した具体的な計算事例、照査しやすく簡素化したチェックリストを掲載し、事業主体をはじめ、設計を直接行う方々の設計、照査における参考書として取りまとめたものです。	会員・賛助会員 10,000円 一般 13,000円
37. 農業集落排水施設(汚水処理施設) 土木構造配筋要領 (平成20年度改訂版) (平成20.8)	A4 約60ページ	農業集落排水施設施工指針－汚水処理施設編－平成19年度改訂版等の改訂内容を踏まえ、汚水処理施設水槽部等の土木構造物の設計及び施工の合理化や円滑な推進を計るため、主に鉄筋コンクリート構造物の配筋に関する様々な基準を整理し、設計担当者や現場担当者の参考資料として取りまとめたものです。	会員・賛助会員 5,000円 一般 7,000円

(カ) バイオマス利活用関係

資料名	構成	内 容	価 格
38. 農業集落排水汚泥利用マニュアル(案) (平成16.7)	A4 202ページ	農業集落排水施設の事業主体や管理主体の担当者及び集排汚泥を肥料として利用する農家等が、資源の有効利用や環境保全の観点からも有効な手段である、集排汚泥の農地還元を実施及び推進するための参考資料です。	会員・賛助会員 4,000円 一般 5,500円
39. 農業集落排水バイオ肥料ハンドブック(案) (平成27.4)	A4 64ページ	集排バイオマスの利活用のうち、農業集落排水の特徴である地域資源循環を担う主要な方策の一つである肥料としての利用に焦点を当て、その利用を一層進めていくために必要となる基礎知識、留意事項などを記載した「現実化に向けた入門編」として取りまとめたものです。	販売は行っておりません。センターホームページからダウンロードできます。
40. 農業集落排水汚泥(集排バイオマス)の リサイクルに向けた冊子 (平成27.4改訂)	A4 40ページ	平成15年に発刊した「ドロコロジー2」を再編集し、市町村の農業集落排水事業の担当者やリサイクルの担い手である農家(生産者)及び地域住民等の方々に、集排バイオマスのリサイクル利用の理解と推進に向けて取りまとめたものです。	販売は行っておりません。センターホームページからダウンロードできます。

資料名	構成	内 容	価 格
41. 消化液の肥料利用を伴う メタン化事業実施手引 (平成28.3)	A 4 40ページ	この手引は、食品廃棄物をメタン発酵する際に発生する消化液の肥料利用を推進することを目的とし、現存するバイオガスプラントの調査を通じてモデル的な実施事例を示すとともに、消化液を肥料として有効かつ効果的に活用するために具備すべき要件を整理して事業化に役立つ手引書として編纂したものです。	販売は行っておりません。センターホームページからダウンロードできます。

(5) 農村環境保全分野

資料名	構成	内 容	価 格
42. 一水域ネットワークの再生をめざしてー 水田魚道づくりの指針 (平成24.4改訂)	A4カラー 71ページ	水田魚道の役割と選定方法、及び具体的な設計や設置の留意点等について、図や写真を多用し、現場で実践できるよう詳しく解説しています。	会員・賛助会員 ・一般 561円
43. 学び、遊ぼう！ 「田んぼの学校」フィールドノート (平成23.3)	A 6 カラー 119ページ	農業・農村の多面的機能を活用した環境教育「田んぼの学校」の活動において、学び、遊ぶ際に活用できる教材として、田んぼに関するいろいろな話題（田んぼにちょっと詳しくなる、田んぼの生きもの観察、農村の暮らし、田んぼの役割等）盛り込んでいます。地域において農村環境保全の各種活動をする際に、子どもたちをはじめ一般の方々へ配布し、田んぼへの理解を深めたり、田んぼに関するいろいろな「気づき」の啓発にご活用いただけます。	会員・賛助会員 ・一般 226円
44. 田んぼの生きもの図鑑ー魚・カエル編ー	B 6 変形 64ページ	田んぼ周りの36種類の魚と11種類のカエルを掲載。野外に持ち出して使えるよう、ポケットサイズで、水をはじく特殊紙使用。	会員・賛助会員 172円 一般 345円
45. 田んぼの生きもの識別図鑑 (平成26.7改訂)	B 6 変形 112ページ	田んぼとそのまわりの水辺でよく見られる生きものを紹介した総括決定版。精選された魚類・両生類・水生昆虫・甲殻類・貝類・トンボ目・バッタ目・クモ類が1冊になっています。生きものを見分けるポイントを写真とイラストを使って詳しく解説。ポケットサイズで水に強い紙を使用していますので、野外での生きもの調査、環境学習にも最適です。	会員・賛助会員 ・一般 432円
46. こんなにすごい！田んぼの役割 (平成23.10改訂)	A 4 カラー 19ページ	田んぼや農村が持っているさまざまな役割について、図版を多用し、わかりやすく紹介しています。	会員・賛助会員 ・一般 216円
47. 田んぼのまわりの観察ノート (平成28.4)	A5版変形 カラー 19ページ	田んぼやそのまわりの生きもの観察に最適な子ども用の観察ノートです。	会員・賛助会員 ・一般： 216円

注：1 当センター発行資料の価格には、すべて消費税が含まれています。送料は別途申し受けます。

2. ビデオ・CD-ROM

資料名	構成	内 容	価 格
48. ビデオ 微生物による水質管理	時間 7分	活性汚泥中の生物を現象的に区分けし、顕微鏡写真で紹介したものです。維持管理の指標としてご利用いただけます。	会員・賛助会員 4,000円 一般 5,000円

3. グッズ

資料名	構成	内 容	価 格
49. 生きもの調査 簡易同定板（下敷き） 東日本版	A 4	生きもの調査をするとき、捕獲した魚やカエルの名前を簡単に調べるための下敷きです。フィールドに持っていくのに大変便利なグッズです。（東・西版あり）	会員・賛助会員 ・一般 162円
50. 生きもの調査 簡易同定板（下敷き） 西日本版	A 4	生きもの調査をするとき、捕獲した魚やカエルの名前を簡単に調べるための下敷きです。フィールドに持っていくのに大変便利なグッズです。（東・西版あり）	会員・賛助会員 ・一般 162円
51. アクリル水槽	—	生きもの調査時に、魚を観察・撮影しやすくするために特別サイズで作成した水槽です。	会員・賛助会員 ・一般 561円
52. 生きもの調査 スタートキット	—	生きもの調査を始める方に、フィールドで役立つグッズをセットにしました。 1セットの内容 田んぼの生きもの下敷き……10枚 フィールドノート……10冊 生きもの調査マニュアル……2冊 田んぼの生きもの図鑑……3冊組×2 アクリル水槽……2個 生きもの調査票……1式	会員・賛助会員 ・一般 5,000円